

夕張

夕張市ルートマップ

ほくたんれきしいさん

北炭歴史遺産ルート

古びた木造校舎、トタン屋根の炭鉱住宅、山の斜面に残る坑道への入口…。街角で、民家の庭先で、町のいたるところで炭鉱の町の面影と出会う夕張市清水沢。のどかな風景の中を歩きながら、華やかなりし“炭都”の面影をたどります。

Footpath Information ルート情報

スタート	J R 清水沢駅
ゴール	J R 清水沢駅
距離/所要時間	約9.5km/約2時間40分
休憩所/トイレ	J R 清水沢駅
駐車場	J R 清水沢駅
利用可能期間	5月～11月
問合せ	夕張市産業課商工観光係 電話 0123-52-3128

Information Icon ルート記号

- 花を見ることが出来るスポット
- 景色がよく、写真を撮るのに最適な場所
- 駐車場 トイレ バス停 小・中学校
- コンビニ 郵便局 神社 寺 消防署



●夕張市フットパス/難易度目安

…夕張市のルートは炭鉱遺産を訪ねる市街地をめぐる平坦なコースです。

●アドバイスと注意点

J R 清水沢駅を出て市街地を巡り国道へ出るまでのルートが少々複雑。坂の上り下りや分岐が多いので気をつけましょう。途中にトイレがないので、駅構内の公衆トイレで用を済ませてから出発を。

アクセス&インフォメーション

- 公共交通
 - J R 札幌駅から J R 新夕張駅まで特急で約1時間、石勝線夕張方面行普通列車に乗換 J R 清水沢駅まで約15分
 - 新札幌駅バスターミナルから夕鉄バス「清水沢駅前」まで約2時間
- 自動車利用
 - 札幌から道東自動車道夕張 I C 経由で約1時間20分
 - 旭川から道央自動車道岩見沢 I C、国道234号、道道3号線経由で約2時間40分
- [交通の問合せ先]
 - J R 清水沢駅 電話 0123-59-7337
 - 夕鉄バス夕張営業所 電話 0123-56-5602



歴史文化

- 1 「J R 清水沢駅」横の公園に公衆トイレがあります。途中、利用できるトイレがないので、スタート前に寄っておきましょう。
- 2 北海道では2箇所しかないという国道にかかる踏切です。
- 3 「旧北炭体育館」、「清水沢ダム」から戻ったら、この建物を目印に、旧炭鉱住宅が並ぶエリアへ向かいます。
- 4 「北炭清水沢炭鉱・旧線込所跡」。ここで折り返します。
- 5 「北炭清水沢炭鉱立坑跡」。草が生い茂る真夏は、道路から見えにくくなります。
- 6 橋の上に立つと一方には手が届きそうな場所にダムの水面、もう一方は眼下に「旧火力発電所」。迫力の景観に圧倒されます。
- 7 道路沿いに連なって並ぶ「炭鉱住宅群」。まち全体が映画のセットのように見えます。
- 8 橋の上から夕張川の流れを堪能。少しずつ草におおわれつつあるスリ山も見えます。
- 9 対岸に規則正しく立ち並ぶ旧炭鉱住宅群が一望できます。
- 10 歩行者専用の横断歩道橋。川の向こうに見える旧炭鉱住宅群は、まるでジオラマのようです。

Footpath Route

炭鉱の歴史遺産をめぐる 過ぎし日の賑わいをたどる

“黒いダイヤ”石炭の供給で日本の近代化を支えた夕張市。最盛期には12万人もの人々が暮らし“炭都”と呼ばれたこのまちでは、立坑や坑口、スリ山など炭鉱の歴史を物語る遺構と出会えます。とりわけ現在も多くの炭鉱住宅が残る清水沢地区は、まちそのものが炭鉱の歴史を伝える博物館とも言えるでしょう。

- J R 清水沢駅を出たら道を渡り右方向へ「長寿庵」の看板を左折します。
- 通りを突き当たりまで進みT字路を右折。急な坂道を上って左方向へ進みます。
- 「北海しんきん」の交差点を右折し、左手斜面の階段を上り橋を渡ります。左手に「旧清水沢小学校」の木造校舎を眺めつつ、ゆるやかな坂道を下ります。
- 「北海しんきん」の交差点を右折し、元の道に戻ったら、ひとつめの交差点を右折し、先ほど渡った橋の前を通り過ぎ、そのまま直進します。
- のどかな田舎道を道なりに進み、国道で左折。途中、国道左手に点在する旧炭鉱住宅が見えてきます。再び、国道に戻ってさらに奥へ進みましょう。
- しばらくすると左手に歴史を感じさせる建物が見えます。「北炭清水沢炭鉱線込所」です。現在は木材加工会社の用地のため見学は敷地の外から。
- 国道を戻り小路を左折して「清水沢ダム」へ。見学後、再び国道を戻り「旧北炭体育館」の信号を左折。「旧炭鉱住宅群」を過ぎ夕張川を渡り、さらに進みます。
- バス停を過ぎて「生協」横を左折すると前方に「北炭清水沢新炭坑跡」。「生協」まで歩いたら「清水沢清陵町」の信号手前から脇道を下りて左後方の橋を渡ります。
- 歩行者専用の橋を渡ると、見晴らしのいい公園があるので眺望を楽しみましょう。坂を上って右折したら、あとはゴールまで真っ直ぐ一本道です。

Footpath Area

- A 旧炭鉱住宅**
変わりゆく夕張市にあって、清水沢は今なお炭鉱町の面影を色濃く残しています。昭和30年代には現在の夕張市の人口に匹敵する1万人ほどが暮らしたこのまちは、鉱員のための炭鉱住宅が数多く残されています。写真は北海道の炭鉱まちでよく見られる四軒長屋型の炭鉱住宅。下見板張りの外壁に二段勾配のトタン屋根が特徴的な木造住宅です。
■住所/夕張市清水沢清栄町
○老朽化に伴い解体が進められていますが、今なお現役で人が暮らしている住宅もあるので、迷惑にならないよう気をつけましょう。
- B 旧清水沢小学校**
JR清水沢駅を見下ろす高台に、明治35年の開校から平成元年の閉校まで、多くの子どもたちが学び築立っていた「清水沢小学校」の旧校舎があります。夏場はうっそうと生い茂る緑に隠れており、校舎は朽ちかけ物悲しさを誘います。校舎前の市街地を見渡す広場には「閉校の碑」があります。
■住所/夕張市清水沢
○校舎1階には板が張られ立入禁止の看板が立てられています。
- C JR清水沢駅**
JR清水沢駅の開業は1897年(明治30年)。石炭輸送の重要拠点として炭鉱専用側線が接続し、多くの貨物列車が往来する大きな駅でしたが、現在は新夕張と夕張間を結ぶ旅客列車1線が運行するのみです。
■住所/夕張市清水沢3
■電話/0123-59-7337
○タブレット閉塞方式の交換設備と胸木式信号機が使われていた駅として鉄道マニアの間では有名。
- D 清水沢ダム**
昭和15年に造られた「北海道炭鉱汽船」(北炭)所有の自家発電用ダムです。長きに渡り石炭採掘の原動力となってきましたが、閉山後は北海道企業局へ移管されています。
■住所/夕張市清水沢清栄町
■電話/0123-52-3141(夕張市まちづくり企画室)
○「清水沢火力発電所」の背後に見える回廊状の山がスリ山です。見学の際は敷地の外から。
- E 清水沢火力発電所**
「清水沢ダム」からまちな方向を見渡すと対岸に「清水沢発電所」の建物が見えます。「北海道炭鉱汽船株式会社(北炭)」が所有していたこの発電所も、閉山と同時に役目を終え、現在は民間企業の事業所となっています。
■住所/夕張市清水沢清栄町
- F スリ山**
採掘後の石炭を選別し、不純物や商品にならないものを積み上げて出来たスリ山は炭鉱まちの象徴。当時は夜間に石炭が発する火が見えることもあったそうです。時とともに草が芽吹き、黒い山肌は少しずつ見えなくなりつつあります。
■住所/夕張市清水沢清栄町
■電話/0123-52-3141(夕張市まちづくり企画室)
○「清水沢火力発電所」の背後に見える回廊状の山がスリ山です。見学の際は敷地の外から。
- G 北炭夕張新炭坑口跡**
「北炭夕張新炭坑」は昭和50年に出炭を開始した北炭最後の大型ビルド坑です。清陵町に残るこの坑口から炭鉱マンたちは1,000mの地下深く入坑し掘削作業に従事しました。しかし、多くの命を犠牲にしたが突如事故により昭和57年に閉山。坑口手前には慰霊碑が建立されています。
■住所/夕張市清水沢清栄町

周辺のみどころ

- 石炭博物館**
夕張を支えた石炭の歴史や人々の暮らしなど、石炭と炭鉱の全てを体感できる国内最大の炭鉱ミュージアム。「まぐら探検」では実際の坑道と石炭層をキャップランプの明かりで臨場感たっぷりに見学できます。
■住所/夕張市高松7-1
■電話/0123-52-3456(夕張リゾート予約センター)
■時間/10:00～16:30
■料金/大人1,200円、子ども700円
※炭鉱生活館の入館料を含む
■定休/月曜(祝日の場合は翌日(7・8月は除く))
※冬期休業
■駐車場/有
- 道の駅夕張メロード**
夕張 I C からほど近い国道274号沿い、J R 新夕張駅に隣接した道の駅。新鮮な地場野菜の直売所やお土産の売店コーナーも併設。夕張限定の「夕張メロンパウムクーヘン」を毎日数量限定で販売中です。
■住所/夕張市紅葉山526-19(センター)
■電話/0123-53-8111
■時間/10:00～19:00
■定休/1月1日～1月4日
■駐車場/有
- 夕張市美術館**
昭和54年の開館以来、夕張の芸術文化の中心として歴史を刻む美術館。夕張出身の佐藤忠良や斎藤清をはじめ、富山哲雄など炭鉱画家の作品を多く収蔵しています。
■住所/夕張市旭町4-3
■電話/0123-52-0930
■時間/10:00～16:30
■定休/月曜、※冬期休業
■料金/大人700円、高校生500円、小・中学生300円
- 黄色いハンカチ広場**
日本映画史上に輝く不朽の名作「幸福の黄色いハンカチ」。まちを見下ろす高台に、炭鉱住宅等のロケセットが当時のまま公開されています。訪れた人が書き残した壁一面のメッセージカードが狂喜です。
■住所/夕張市日吉5
■電話/0123-52-3456(夕張リゾート予約センター)
■時間/10:00～16:30
■定休/冬期休業
■料金/大人500円、子ども300円
■駐車場/有

- 夕張メロン**
北海道を代表する特産品のひとつ。美しいレース模様のネットに包まれた鮮やかなオレンジ色の果肉の甘さとみずみずしさは格別です。標高が高く昼夜の温度差が大きい気候風土が作りあげた果物の王様。そのおいしさを体験してください。
■最盛期/6月～8月
○熟すと外皮が全体的に黄色味を帯び、香りが強くなってきます。底を軽く押して弾力を感じたら食べ頃です。
- アスパラ**
初夏に旬を迎えるアスパラも夕張を代表する特産品のひとつです。通常は5月から7月にかけて最盛期を迎えるアスパラを、温泉の廃熱を利用して冬場に生産するプロジェクトを展開し、注目を集めています。
■最盛期/5月～7月
○温泉廃熱利用のアスパラは「天然温泉 レースイの湯」隣接ハウスの栽培、収穫しています。
- 長いも**
特産品の中でもメロンに次いで有名な「長いも」です。夕張市の長いもは粘りが強く味も濃いと評判。一度味わうと他のものが物足りなく感じるほどといわれています。朝晩の気温が下がる11月～12月が収穫の最盛期。
■最盛期/11月～12月

Event

- ゆうばり桜まつり**
桜の名所日本一を目指し桜の植樹活動を展開する「夕張桜守」が中心となって行う春のお祭り。当日は桜の植樹会をはじめ、多彩なステージイベントを開催。
■開催時期/5月中旬 ■会場/石炭の歴史村ほか
■問合せ/0123-53-2637(夕張桜守)
- 夕張メロンまつり**
参加自由の「夕張メロン模擬セリ市」や「子供メロン早食い競争」など、楽しいイベント盛りだくさんの一日。メロンが大盛振る舞いされる無料試食会に長い行列ができます。
■開催時期/6月下旬
■会場/夕張市公設地方卸売市場
■問合せ/0123-53-2588(夕張メロンまつり実行委員会)
- ゆうばり夏まつり**
ゆうばり囃子に合わせてまちを練り歩く「阿呆おどり」で盛り上がる、夏の夕張市を代表するおまつりです。清水沢イベント広場はたくさんの屋台でにぎわいます。
■開催時期/8月上旬
■会場/清水沢イベント広場ほか
■問合せ/0123-52-3266(ゆうばり夏まつり実行委員会)
- ゆうばり紅葉まつり**
鮮やかに色づく滝の上公園の紅葉を愛でつつ、秋の味覚をゆっくり堪能。おまつり期間中のみ公開される炭鉱の歴史遺産「滝の上発電所」は必見です。
■開催時期/10月中旬
■会場/滝の上公園
■問合せ/0123-52-0777(ゆうばり紅葉まつり実行委員会)
- ゆうばり国際ファンタスティック映画祭**
ハリウッドの大作から、話題の邦画、インディーズ作品まで、幅広い作品を集め開催される国際映画祭。各国の映画人と観客、市民が まちに集まり、「映画」を通して交流を深めます。
■開催時期/2月下旬
■会場/アディール会館ゆうばり(旧夕張市民会館)、ゆうばりホテルシュバロほか
■問合せ/0123-53-2637(ゆうばり国際ファンタスティック映画祭実行委員会)